教えて！ドクターQ&A

㈱宣通 (052)979-1602 広告

Q 緑内障は失明の原因になると聞きました。早期発見のために大切なことを教えてください。

A そう聞くと不安になりますよね。緑内障は、目の神経（視神経）が少しずつ傷み、見える範囲（視野）が欠けていく病気です。怖いのは、一度失われた視野は元に戻らないことです。初めは中心から少し離れたところから見えなくなるため自分で気づきにくく、見えにくさを自覚した時にはかなり進行していることも少なくありません。

しかし、早く見つけてきちんと治療を続ければ、進行をゆるやかにできる病気でもあります。治療は眼圧を下げる目薬から始めますが、最近は新しい手術方法もたくさん開発されています。より早い段階から積極的に手術を行うことで、進行を遅らせる可能性も高まってきています。

だからこそ、見え方に異常がなくても定期的に眼科を受診することが大切です。特に40歳を過ぎたら、眼圧、眼底、視野の検査を受けましょう。ご家族に緑内障がある方や強い近視の方は、よりこまめなチェックをおすすめします。「まだ大丈夫」と思わず、早めに検査を受けることが、将来の安心につながる第一歩になります。



院長　浅見　哲
（浅見眼科手術クリニック）

1996年三重大学医学部卒業。2004年名古屋大学大学院修了。国立名古屋病院（現・名古屋医療センター）眼科レジデント、豊橋市民病院眼科部長、名古屋大学医学部附属病院眼科医局長、眼科三宅病院副院長などを歴任し、2021年に開業。これまでに培った技術や経験と先進の機器を生かし、患者の目を救うことをめざす。